

<絵本を楽しむこと>



乳幼児期にイメージの世界を楽しむことは、大切なことです。

イメージの最初の出会いは、『絵本』が多いかもしれません。

自由に『絵本』に触れることができる環境、自分が見たいときに『絵本』を開くことができる環境は大切です。

自分で読むのではなく、大人の人に読んでもらうことが大切です。

子どもにとって絵本は、絵を目で見て読み、身近な親しい人に読んでもらった言葉を聞くものです。

そこで、子どもと絵本という二者関係だけでなく、子ども—絵本—読み手の三者関係が生まれ、子どもと読み手、絵本と読み手という関係もあらわれてきます。子どもは、絵本の世界だけでなく読み手との関係も味わっています。絵本は読んでもらうことによって完成するともいわれています。読み手の存在が重要なのです。

保育室で絵本を読む場合、一対一で読むことも大切にしていますが、集団で絵本を見る時間も大切にしています。聞き手である子どもたち同士が、絵本を見る場を共有し、共に味わう体験します。子どもたちは、保育者の読む絵本の世界に友だちと一緒に出会い、味わい、絵本の世界を共有することを集団で体験することができます。それが絵本を読むことの重要な意味になります。


すまいるには、たくさんの絵本があります。子どもたちは遊びの中で自由に絵本を取り出し、遊びの中に取り入れたり、「読んでほしい」と保育者に読んでもらいたい絵本を持ってきて保育者と一緒に絵本をみたり、集まりの時間にみんなで絵本を見る時間を作ったりして絵本を楽しんでいます。

遊びの合間に見る絵本は、子どもたちを落ち着かせ新たな遊びに向かう活力にもなっています。

子どもたちが好きな本ほど、傷みが激しいです。それは、読まれている、触れられている勲章だと思っています。

最近木曜日の絵本の貸し出しの日だけでなく、「絵本をお家で見たい」と借りていく子どもたちが多くなってきています。ご家庭でも絵本を見てくださっていると嬉しく思っています。

11月21日(土)は、縁があって絵本の読み聞かせのボランティアをしてくださる方にきていただいて、読み聞かせの時間を過ごしたいと思っています。いつもと違う環境でどんな楽しみ方をするのか楽しみです。



《お知らせ》

○12月18日(金)は、子どもたちだけでクリスマス会を行います。プレゼント交換などについては、別紙詳細をご覧ください。

○12月29日(火)～2021年1月3日(日)は、冬季休業になります。ご承知ください。

○12月10日(木)送迎中に事故を起こしてしまいました。ご迷惑をおかけしました。今のところ、子どもたちは痛みなどの症状は出ていません。今後、気を付けて送迎をいたします。申し訳ありませんでした。

基本保育時間は、7:30～18:30です。

7:00～7:30、
18:30～19:00
の利用の場合は、
お知らせください。

